

minokamo

暮らしの情報紙 広報みのかも

2011

4/15

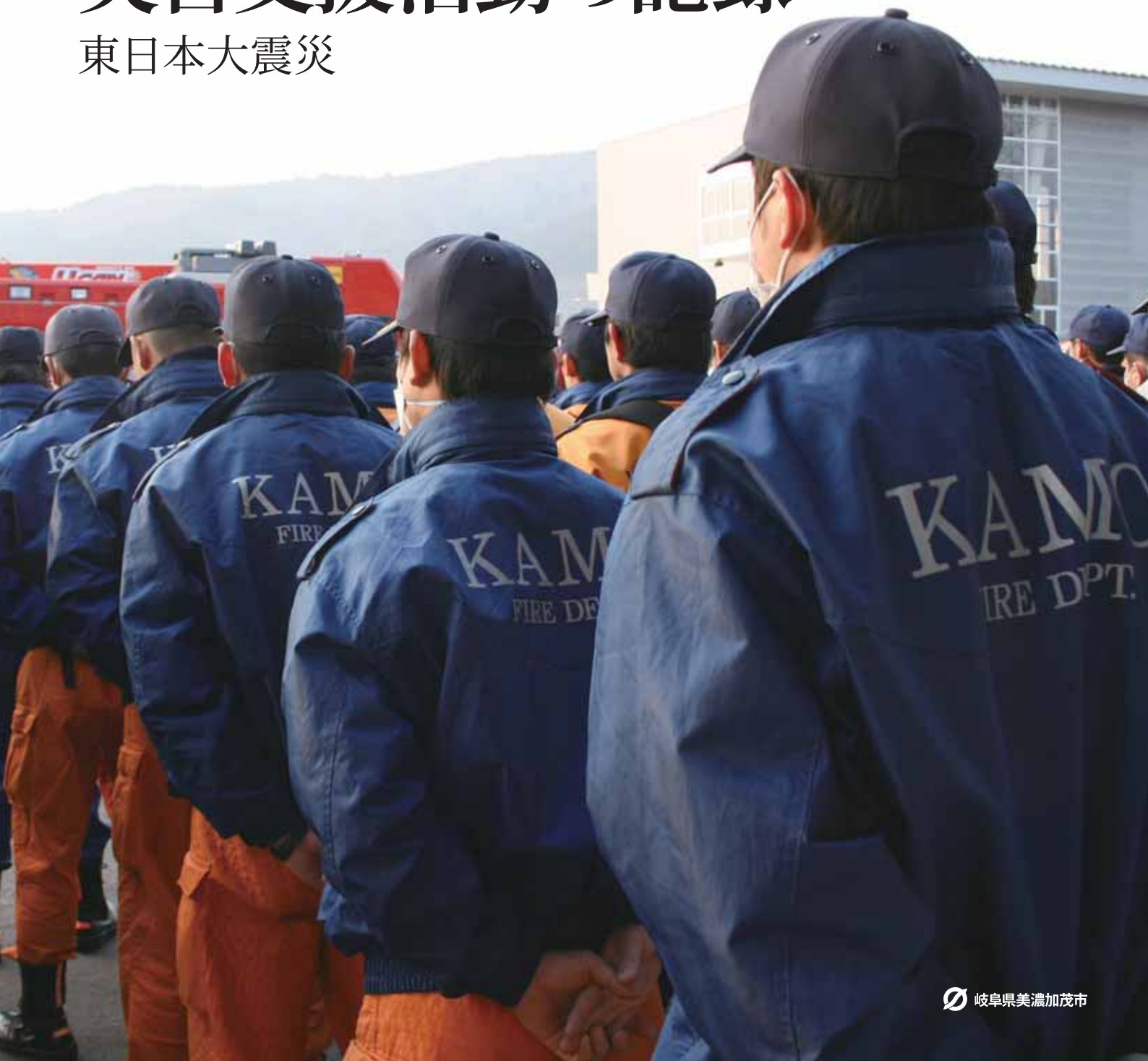
No.934

巻頭特集

美濃加茂市から被災地へ

災害支援活動の記録

東日本大震災



巻頭特集

美濃加茂市から被災地へ 災害支援活動の記録

東日本大震災

2011年3月11日[金]午後2時46分、東北地方を中心に大きな被害をもたらした東日本大震災が発生しました。可茂消防事務組合では、職員を岐阜県緊急消防援助隊第1次派遣隊として震災当日に被災地へ派遣し、4月1日まで継続的に被災者の支援活動を行いました。また、美濃加茂市では、給水応援隊として市職員を派遣し被災者へ給水支援活動を行いました。

今回の巻頭特集では、可茂消防事務組合と美濃加茂市が行った災害支援活動を皆さんに報告します。

岐阜県緊急消防援助隊 可茂消防出動隊

美濃加茂市を含めた広域の行政で組織している可茂消防事務組合は、地震発生から約3時間後の3月11日午後6時に、被災地へ向けて2隊6人を出動させました。主に福島県新地町にて緊急援助活動を行いました。

- 01 可茂消防事務組合消防本部(加茂川町)で行われた第3次派遣隊の出発式の様子
- 02 活動拠点のベースキャンプ(基地)になっている福島県の消防学校から行方不明者の捜索・救出活動に向かう可茂消防の救助工作車
- 03 福島県新地町にて、流れ込んだ泥をかき分けての捜索の様子
- 04 福島県新地町にて、川沿いを中心に捜索活動をする消防隊員
- 05、06 福島県新地町にて、トビロを使った倒壊家屋での捜索の様子
- 07 ベースキャンプ帰着時に行われる放射線測定器を使ったチェックの様子。隊員らが主に捜索活動を行った福島県新地町は、福島第一原子力発電所から約50キロの地点にありました



災害支援活動の記録

可茂消防出動隊の記録

3月11日 金

14:46 東日本大震災発生 (M9.0)
18:00 可茂消防事務組合の支援隊(3人)と救急隊(3人)が岐阜県緊急消防援助隊第1次派遣隊として福島県へ出発。18時間後に福島県へ到着し、被災者の捜索活動や救急搬送を行う。また、郡山市にて活動拠点のベースキャンプ(基地)を設営し野営活動を実施(3月14日帰庁)

3月13日 日

16:30 可茂消防事務組合の支援隊(3人)と救急隊(3人)が岐阜県緊急消防援助隊第2次派遣隊として出発。到着後、福島第一原子力発電所で爆発事故が発生したため、郡山市のベースキャンプを福島県消防学校へ移設。主に福島県の新地町で、被災者の捜索活動、救急搬送や支援物資搬送などを行う(3月18日帰庁)

3月16日 水

16:40 可茂消防事務組合の支援隊(2人)と救助隊(5人)が岐阜県緊急消防援助隊第3次派遣隊として活動拠点のベースキャンプとなっている福島県消防学校へ出発。主に福島県の新地町で、被災者の捜索活動や救急搬送を行う。懸命の活動により被災者2人を救出する(3月20日帰庁)

3月19日 土

14:30 可茂消防事務組合の支援隊(2人)と救助隊(5人)が岐阜県緊急消防援助隊第4次派遣隊として福島県消防学校へ出発。主に福島県の新地町で、被災者の捜索活動や救急搬送を行う(3月22日帰庁)

3月28日 月

14:30 可茂消防事務組合の消火隊(5人)が岐阜県緊急消防援助隊第7次派遣隊として福島県消防学校へ出発。主に福島県郡山市で、倒壊家屋の被害状況調査や支援物資搬送などを行う(4月1日帰庁)

※第5次派遣隊および第6次派遣隊の可茂消防への出動要請はありませんでした



岐阜県緊急消防援助隊として出動した可茂消防隊員から

今回の大震災で、被災地での災害支援活動を通じて、私たち消防行政は災害に備えたあらゆる想定が必要であると学びました。災害は忘れたころにやってくるといいますが、私たちは日ごろから災害へ備えておくことが重要です。市民の皆さんには、身近なこととして防災訓練への参加、また食料・水など非常災害物品を最低3日分は備えることをお願いします。



01

美濃加茂市からの支援

美濃加茂市では、3月14日に支援対策本部を立ち上げ、被災地への支援活動を開始しました。また、現在も多くの義援金や救援物資などが、市に寄せられています。

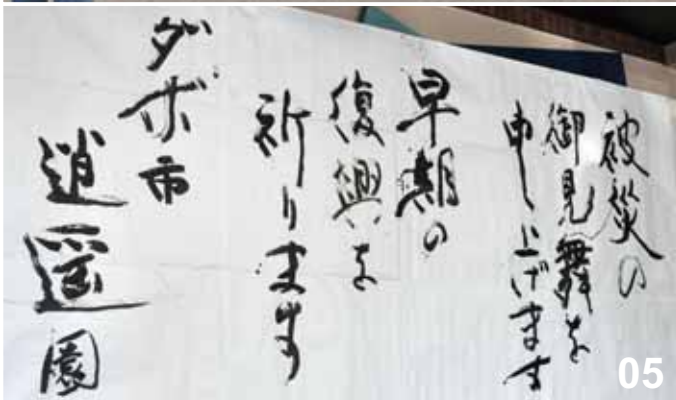
- 01 文化会館に市内外から集まった救援物資
- 02 地震発生後、市内各地で義援金の受け付けを開始しました。現在も、多くの義援金が寄せられています
- 03 救援物資を10トントラックに積み込む市職員ら
- 04 救援物資を届けるため、10トントラック1台に運送会社職員2人と、ワゴン車1台に市職員5人が乗り込み被災地である宮城県東松島市へ向かいました
- 05 姉妹都市提携を結ぶオーストラリアのダボ市から縦180センチ×横370センチの災害見舞いの書が届きました



02



04



05



03

災害支援活動の記録

美濃加茂市の災害支援活動記録

3月14日 月

- ・「美濃加茂市東日本大震災支援対策本部」を設置
- ・義援金と救援物資の受け付けを開始
- ・被災地ボランティアの受け付けを開始

3月17日 木 ・第1次緊急支援として災害備蓄倉庫の備蓄品(水・ブルーシート)を送る

3月21日 祝

- ・美濃加茂市職員2人が第1次給水応援隊として給水タンクを積載したトラックで宮城県東松島市へ出発(3月26日帰庁)
- ・文化会館で救援物資の休日受け付けを実施
- ・第2次緊急支援として災害備蓄倉庫の備蓄品(クラッカー)を送る

3月24日 木

- ・市教職員住宅5戸の被災者入居受け入れ募集開始
- ・市職員2人が第2次給水応援隊として宮城県東松島市へ出発(3月31日帰庁)

3月26日 土 ・市職員ら7人が救援物資を宮城県東松島市へ陸路で輸送

3月29日 火

- ・市職員2人が第3次給水応援隊として宮城県東松島市へ出発(4月5日帰庁)

今後については、4月27日に岩手県陸前高田市に保健師1人を派遣し、4月中旬に被災地へ向けて事務職員1人を派遣する予定です。



06 東松島市民体育館に美濃加茂市からの救援物資を下ろす市職員ら

07 東松島市で給水支援活動を行う美濃加茂市の給水車。第1次給水応援隊として、給水支援活動を行なった職員は、「テレビで見て状況が分かっているつもりで現地に着いたが、それとは比べものにならないほど圧倒的な悲惨さを感じた」と被災地の様子を語りました

皆さんからの義援金を日本赤十字社岐阜支部へ送金しました。

企業や個人の皆さんから、美濃加茂市および市社会福祉協議会に募金いただいた被災者に対する義援金のうち、3月31日までの集計金額は次のとおりで、順次、日本赤十字社岐阜支部へ送金しています。

■ 集計金額 32,973,174 円

※被災地の消防団員らを支援するため、美濃加茂市消防団が義援金392,719円を(財)岐阜県消防協会を通し、被災地消防協会へ送金しました

市民の皆さんからお預かりした救援物資の内訳を報告します。

3月21日の救援物資休日受け付けを含めて、3月25日までに、皆さんからお預かりした救援物資を、3月27日に被災地である宮城県東松島市に直接届けました。その内訳をお知らせします。

■ 救援物資品目 ・水ペットボトル(2リットル・500ミリリットル 約1,300本) ・乾電池(約670本)
・ブルーシート(約80枚) ・トイレットペーパー(約10,700ロール)
・紙おむつ(こども・大人用 約530袋) ・その他生活物品(45箱)

市では、引き続き被災者に対する義援金や救援物資(米や生鮮食品、毛布や衣類などを除く)の受け付けを行なっています。詳細については、福祉課市民福祉係(☎25-2111 内線315)までお問い合わせください。

だいよう きん

大腰筋を鍛えよう

体の外から触ることができない「インナーマッスル」の一つ「大腰筋」は腰椎(背骨)と大腿骨(太ももの骨)をつなぎ、「背骨や骨盤を支える」「太ももを上げる」といった働きを担う重要な筋肉です。

この筋肉は老化に伴う衰えが大きく、運動しない生活が続くと30～40代で衰え始めます。衰えが大きくなると骨盤のゆがみが生じ、太ももを持ち上げることができないので、「つまずく」、「階段を上るのがつらくなる」などが現れるため、転倒予防のためには欠かせない筋肉です。

今回は、大腰筋を鍛えるトレーニングを紹介します。ちなみに、大腰筋を鍛えることでウエストの引き締め効果があるとも言われ、女性にも魅力的です。



①椅子に浅めに腰掛け、背筋を伸ばし、椅子の座面を両手でつかむ

②片方の膝をゆっくりと胸に引き付ける ③ゆっくりと元の姿勢に戻る

※片方ずつ行うのがきつい場合は、両足を交互に行うようにする

※慣れたら膝を胸に引き付けると同時に背中を丸め、より膝と胸を近付ける

No
34

多文化共生

いよいよ「考えよう。共生時代」のコラムが最後になりました。私たち国際交流員からさまざまな国の文化や習慣を紹介させていただきましたが、皆さんはどう感じられたでしょうか。

私は日本に21年住んでいます。まだ礼儀や作法に戸惑うことがたくさんあります。私が生まれ育った母国ブラジルでは、多くの文化が交じり合っています。ですから、同じ国で生まれ育った人同士でも、異文化を感じることが多々あるのと同様に共通点も多々あるように感じます。また、違って当たり前だとも思います。

皆さんも家庭、職場、学校などで感じることはないでしょうか。例えば、結婚をして感じることはなく、日本人同士であつても、みそ汁の味や子どもの育て方などで衝突をすることがありませんか。それは、生まれ育った環境やそれぞれの価値観などが違うので、違って当然だとも思います。

難しく考えないで、共通点を探すことから始めませんか。相手の癖が変だと思っても本人はいたって普通だと思っていることがあります。

違いはあつて当たり前なので、分からなくて当たり前、気が付かなくても当たり前。外国人と日本人としてではなく、同じ「地球人」として触れ合えば、共通点がたくさんあると思います。

今まで私たちのコラムを読んでいただき、ありがとうございます。

O b r i g a d a ! (ありがとう)

(文責 久保田)

information wide

市政懇談会～まちづくりトーク～を開催します

市政懇談会を市内8カ所で開催します。

この懇談会では、市長がこれからのまちづくりの考えや平成23年度予算などについて語り、皆さんと意見交換を行いながら、共にまちづくりを進めていくことを目的に開催します。

市長と気軽に話をしてみませんか。皆さんのご参加をお待ちしています。



●と き

地 区	開催日	時間	会 場	地 区	開催日	時間	会 場
下米田地区	5月11日 ☖	午後 7時～	下米田交流センター (旧下米田公民館)	蜂屋地区	5月24日 ☖	午後 7時～	蜂屋交流センター (旧蜂屋公民館)
三和地区	5月13日 ☎		三和交流センター (旧三和公民館)	山之上地区	5月26日 ☖		山之上交流センター (旧山之上コミュニティセンター)
伊深地区	5月17日 ☖		伊深交流センター (旧伊深公民館)	太田地区	5月31日 ☖		生涯学習センター (旧中央公民館)
加茂野地区	5月20日 ☎		加茂野小学校体育館	古井地区	6月3日 ☎		総合福祉会館

●申込み 不 要 ※お住まいの地区会場に直接お越しください

●問い合わせ 市政情報課市政情報係 ☎内線244

information wide

市税・国保料の休日納付相談のご案内

市税は、道路・下水道・公園の整備や教育・福祉の充実などに使われる市の基幹財源で、皆さんの暮らしの中に生かされています。また、国民健康保険料は、病気やけがなどのときに必要な医療保険の運営に充てられています。

皆さんから納付いただく市税などには、納期限が定められています。納期限までに納付しましょう。期限を過ぎて納付されるときには、延滞金をお支払いいただくことになりますのでご注意ください。

また、うっかりして納期限を過ぎてしまい気になっている人、あるいは、生活状況が変わったことや、納付額が思っていたよりも高額であったことなどで、期限内に納付できず相談に行きたいが、平日は忙しくて納付や相談に行けない人などは、納付相談窓口を開設しますので、お気軽にご利用ください。

●と き 毎月第4回 午前9時～正午

●ところ 市税：税務課(市役所西館1階) 国民健康保険料：保険課(市役所本館1階)

※電話での相談や問い合わせも受け付けています

※納付相談の場合は、本人と確認できるもの(免許証など)が必要です。また、代理人の場合は、納付義務者の委任状が必要です

※事前にお電話いただければ、平日の夜間(午後6時～8時)も対応しますので、ぜひご連絡ください

※延滞金は、各納期限を経過した日の翌日から最初の1カ月が4.3%、2カ月以降は14.6%の割合で加算されます

●問い合わせ 税務課収納係 ☎内線510 保険課収納係 ☎内線218

information wide

平成23年度軽自動車税の減免申請を受け付けます

4月1日現在、身体に障がいのある人などが所有している軽自動車などで、一定の要件に当てはまるものについて、軽自動車税を減免します。対象となる人は、毎年手続きが必要です。

●申請期間 4月18日(月)～5月24日(木)

●申請場所 税務課(市役所西館1階)

●対象

①身体障害者手帳または戦傷病者手帳の交付を受けている人

②精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人で、通院医療費の公費負担を受けている人

③療育手帳の交付を受けている人

対 象 者	所 有 者	運 転 者	使 用 目 的
18歳以上で上記①に当てはまる人	本 人	本 人	主に、日常の生活に使用
18歳未満で上記①に当てはまる人 上記②または③に当てはまる人	本人または生計を 同じにする人	生計を同じにする人または 常時介護する人	主に、日常の生活手段として 通学、通院、通所または 仕事のために使用

※障がいの程度によっては、対象にならない場合がありますのでご相談ください

●減免台数 原動機付自転車、小型特殊自動車、軽自動車または二輪の小型自動車のうち1台

※普通自動車で減免を受ける場合は、軽自動車では減免を受けられません

●申請に必要なもの

①身体障害者手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳のいずれか

②運転免許証 ③車検証 ④印鑑

⑤生計同一証明書(運転者が身体障がい者など本人ではなく、同一世帯と確認がとれない場合)

⑥常時介護証明書(運転者が身体障がい者などのみで構成される世帯を常時介護している場合)

※⑤⑥の証明書は福祉課で交付しています。⑥の証明を受けるためには事前に手続きが必要です

●問い合わせ 税務課市民税係 ☎内線212

information wide

児童扶養手当と特別児童扶養手当および特別障害者などの手当額が変わりました

消費者物価指数が下落したため、手当額が次のように引き下げられることとなりました。

手当の名称		旧(平成23年3月まで)	新(平成23年4月から)	担当課
児童扶養手当	全額支給	41,720円	41,550円	こども課
	一部支給	41,710円～9,850円	41,540円～9,810円	
特別児童扶養手当	1 級	50,750円	50,550円	
	2 級	33,800円	33,670円	
特別障害者手当		26,440円	26,340円	福祉課
障害児福祉手当		14,380円	14,330円	
福祉手当(経過措置分)		14,380円	14,330円	

●問い合わせ こども課児童福祉係 ☎内線327 福祉課障がい福祉係 ☎内線326

募集

application for event

料理の楽しさを男性にも
男のわくわくクッキング

ご飯の炊き方、だしの取り方、
魚のおろし方など料理の基礎を、
楽しく学んでみませんか。



- と き 5月20日～6月24日
までの毎週
午前10時～午後1時
※午前9時30分から受け付け
※6月10日(土)はお休みします
- ところ
生涯学習センター栄養指導室
- 対象
市内在住の60歳以上の男性
- 定員 20人(先着順)
- 参加料
1,500円(5回分材料費)
- 持ち物
布巾、エプロン、三角巾

●申込み

5月2日(土)までに、直接または
電話で長寿支援センターへ

- 問い合わせ 長寿支援センター
長寿福祉係 ☎内線502

市民卓球大会

卓球を通して、地域の輪を広げ
ましょう。

- と き 5月29日(土)
午前8時30分～
- ところ プラザちゅうたい
- 対象 市内・坂祝町・川辺町
内に在住・在勤・在学・在クラ
ブの人
- 競技種目
- 40ミリボール
 - ・シングルス
小学生男子の部・女子の部
中学生男子の部・女子の部
一般男子の部・女子の部
(高校生以上)
 - 50歳以上男子の部・女子の部
 - ・ダブルス
男子の部・女子の部・混合の部
(ダブルスは1種目に限る)
- ラージボール
 - ・シングルス
男子の部・女子の部

・ダブルス

男子の部・女子の部

※40ミリボールとラージボール
の両方へのエントリーはでき
ません

※申し込みの人数により、試合方
法・部門を変更する場合があります

●参加料

- ・シングルス 大 人 300円
小中高生 200円
- ・ダブルス 一 組 300円

- 申込み 5月20日(土)までに、プ
ラザちゅうたいにある申し込み
用紙に必要事項を記入しプラザ
ちゅうたいへ

●問い合わせ

美濃加茂市卓球協会

☎25-0576

スポーツ振興課 ☎26-3241



岐阜県中濃特別支援学校PTAボランティア養成講座 受講者募集

知的障がいや自閉症などの発達障がいのある子どもたちが暮らしやすくなるように、地域における理解者や
支援者を増やすことを目的とした講座です。5回にわたる講座で、講師や保護者の講話を聞いたり、実際に子
どもたちと活動を共にしたり、グループで話し合ったりしながら学んでいきます。

- と き 6月11日(土)、7月9日(土)、9月3日(土)、10月8日(土)、11月5日(土)
いずれも午後1時～午後4時
- ところ 岐阜県立中濃特別支援学校(関市)
- 対象 高校生以上
- 定員 30人(先着順)
- 参加料 無 料
- 申込み 5月9日(土)から5月27日(土)までに、①氏名(ふりがな)②性別③生年月日・年齢④職業(学校名・学
年)⑤住所⑥電話番号(自宅・携帯)⑦ボランティア保険加入の有無⑧講座希望理由を記入し、FAX(0575-
24-6265)または郵送(〒501-3938 関市桐ヶ丘2丁目3番地)で「岐阜県立中濃特別支援学校PTAボラン
ティア養成講座事務局宛」へ
- 問い合わせ 学校教育課 ☎内線344 岐阜県立中濃特別支援学校 ☎0575-24-1773

イベント event information

陶芸「河童百態」展

河童を人間社会に置き換えてユーモラスに表現する陶芸河童展を開催します。

●と き

4月29日(土)～5月5日(日)

●ところ

太田宿中山道会館

●内 容

陶芸「河童百態」
塚本孝示さん作品展

●入場料

無 料

●問い合わせ

太田宿中山道会館 ☎23-2200

商工観光課商工観光係

☎内線261

中山道太田宿写生大会

家族や友だちと、太田宿の景色や木曽川を題材にした写生大会に参加しましょう。



●と き

5月8日(日)

午前9時～

※雨天決行

●ところ

中山道太田宿

●対 象

どなたでも

●参加料

無 料

※四つ切りの画用紙を配布します

●申込み

当日の午前9時から午後2時

まで、太田宿中山道会館で受け

付け

※画材は自由です

※後日、表彰式を行います

●問い合わせ

太田宿中山道会館 ☎23-2200

商工観光課商工観光係

☎内線261

おはなしランド特別企画

全ての人たちに読書の楽しみを知ってもらおうと、通常の読み聞かせの他に多言語の読み聞かせを行います。



●と き

4月23日(日)

午後1時30分～2時

通常の読み聞かせ

午後2時～2時30分

多言語の読み聞かせ

●ところ

中央図書館集会室

●問い合わせ

中央図書館 ☎25-7316

第4土曜映画会

●と き

4月23日(日)

午前10時～

●ところ

生涯学習センター視聴覚室

●映 画

「ジャングル大帝 友達」

「グリム名作劇場

のっぺらぼう」

●入場料

無 料

●問い合わせ

生涯学習課 ☎25-4141

その他 other information

生活関連物資調査表

(平成22年12月～平成23年3月分)

単位:円

生活関連物資	12月	1月	2月	3月
牛 乳 (1ℓ 紙パック入)	189	193	193	187
鶏 卵 (10個入 Mサイズ)	160	186	186	192
ガ ソ リ ン (レギュラー1ℓ)	132	134	138	140
軽 油 (1ℓ)	112	113	117	120
灯 油 (店頭価格1ℓ)	76	78	85	87

※調査をお願いしております販売店の皆さんには、いつもご協力をいただきましてありがとうございます

●問い合わせ

消費生活相談室 ☎内線462

講座

course information

大八講座

よりみちコンサート

昔懐かしいおもちゃのピアノ
(トイピアノ)を使用して、その魅力と音楽の素晴らしさをお伝えします。



- と き 5月8日回
午後1時30分～3時30分
- ところ
中山道太田宿「旧小松屋」
- 出演
宇野 まさし 正志さん(ピアニスト)

●対象 どなたでも

●定員 100人

●申込み 不要

●参加料 500円

●問い合わせ

大八文庫古藤 ☎26-1734

文化の森 ☎28-1110

もうすぐパパ・ママ教室

初めてパパ・ママになる人を対象に、実習や体験を主とした教室を開催します。

●と き 5月22日回

午前9時～正午

●ところ 保健センター

●内容

妊娠・出産、父親の役割について、夫婦で行う妊婦体操・リラクゼーション法、沐浴実習など

●対象

初めて親になる市内在住の夫婦

●定員 12組(先着順)

●参加料 無料

●申込み

5月9日(日)から、直接または電話で健康課へ

●問い合わせ

健康課母子保健係 ☎内線388



観光名勝 「日本ライン下り」 割引優待

市民の皆さんの日ごろのご支援に感謝の意を込めて、日本ライン下りの乗船をご優待します。

日本八景の一つ、四季折々の名勝木曽川の雄大な眺めを日本ライン下りでお楽しみください。

●優待期間 11月30日(日)まで

●料金 大人 2,500円(通常3,400円)

小人 1,250円(通常1,700円)

※1枚につき10人まで有効

●問い合わせ 木曽川観光 ☎0574-28-2727

商工観光課商工観光係 ☎内線261



広報みのかもクーポン付き広告掲載を募集

●掲載号

7月号、10月号、12月号、3月号のうち、希望する号に掲載可能
※広告枠は1号に最大28枠まで。ただし、1号に広告が12枠に満たない場合は掲載しないこととし、広告が28枠に満たない場合は優先する12枠のみの掲載となります

●広告枠サイズ 縦50mm×横86mm ●色 彩 白黒表現

●問い合わせ 代理店(株)宣通 ☎052-979-1600

市政情報課広報係 ☎内線241



みのかも文化の森

美濃加茂市民ミュージアム NEWS

文化の森 ☎28-1110

まゆの家年中行事 こいのぼり立て

生活体験館(まゆの家)にこいのぼりを立て、ショウブとヨモギを屋根にふきます。

- と き 5月5日(日)まで
午前9時～午後5時
- 対 象 どなたでも
- 観覧料 無 料

ていねいな暮らし講座 お茶摘み

お茶の葉を摘んで、番茶作りの体験をします。

- と き 5月3日(日)
午前9時30分～正午
- ※雨天中止
- ※午前9時から受け付け
- 対 象 どなたでも
- 定 員 20人
- 参加料 100円

森の朗読会

みのかも「声のドラマ」の会の皆さんによる朗読です。

- と き 5月21日(日)
午後2時～3時
- 対 象 どなたでも
- 定 員 120人
- 入場料 無 料

四季を食べる講座 山菜料理

知っているようで知らない山菜のあれこれ…。あく抜きは？料理のバリエーションは？この講座で一挙に解決。



- と き 5月15日(日)
午前10時～午後1時
- ※午前9時30分から受け付け
- 対 象 どなたでも
- 定 員 20人
- 参加料 300円
- 持ち物 エプロン、三角巾

収蔵品展 蚕とまゆ展

この地域は、古くより養蚕が盛んでした。蚕とまゆの生育とその道具の使われ方を紹介します。

- と き 5月21日(日)～8月28日(日)
午前9時～午後5時
- 対 象 どなたでも
- 観覧料 無 料

逍遙フォーラム

- と き 5月22日(日)
午後2時～4時
- ※午後1時30分から受け付け
- 内 容
・第1部…伊藤 洋さん(演劇博物館前館長、早大名誉教授)による講演
・第2部…劇団シアターウィークエンドによる逍遙作訳の「マクベス」上演
- 対 象 一 般
- 定 員 120人
- 入場料 500円

アートな1日講座 陶芸

手びねりの技法またはろくろで簡単な器を作ります。出来上がった作品は、後日お渡しします。(送付の場合は有料)

- と き 5月29日(日)
午後1時～4時
- ※午後0時30分から受け付け
- 対 象 どなたでも
- 定 員 20人
- 参加料 1,000円
- 持ち物 エプロン、タオル

文化の森ギャラリー 2011 / Woodland Gallery 2011

豊かな自然に囲まれた文化の森に、さまざまなアーティストたちが集いこの時だけの壁も天井もないギャラリーが、いくつもオープンします。

- と き 4月29日(日)～5月1日(日) 午前9時～午後5時
- 対 象 どなたでも ●観覧料 無 料



文化の森ギャラリーツアー

森の中を散策しながら、「文化の森ギャラリー 2011」に参加するアーティストたちが、自身の作品についてコメントをします。

- と き 5月1日(日) 午後1時～3時 文化の森工芸室前のテラスに集合
- 対 象 どなたでも ●参加料 無 料

